

歯科材料 5 歯科用接着充填材料  
管理医療機器 歯科接着用レジンセメント (70836002)

## マルチリンク オートミックス

### 【禁忌・禁止】

メタクリル酸に対して過敏症状を有する患者には、使用しないこと。

### 【形状・構造および原理等】



### 【種類】

- ・トランスペアレント (T) (1本9g)
- ・イエロー (Y) (1本9g)
- ・オペーク (O) (1本9g)

### 【セット構成】

- ・プライマー A (3g)
- ・プライマー B (3g)
- ・メタル/ジルコニアプライマー (5g)
- ・モノボンド S (5g)

### 【付属品】

- ・ミキシングチップ
- ・ルートキャナルチップ
- ・アプリケーター
- ・ミキシングパッド
- ・練和紙

成分	バリウムガラスフィラー、二酸化ケイ素、ウレタンジメタクリラート、その他
----	-------------------------------------

### 【原理】

プライマー等で処理した修復物あるいは修復歯の欠損部位の色調にあった色調を選び、接着する修復物等に本品を塗布する。光照射することによる光重合とベースとキャタリストが混合して化学重合がおこるデュアルキュアタイプのレジンセメントである。

### 【使用目的、効能又は効果】

歯科修復物・歯科修復材・口腔内硬組織のいずれかの相互間の接着に用いる。

### 【品目仕様等】

- 接 着 : 15 MPa 以上
- 曲げ強さ : 70 MPa 以上
- 溶 解 量 : 7.5  $\mu\text{g}/\text{cm}^2$  以下
- 吸 水 量 : 40  $\mu\text{g}/\text{cm}^2$  以下
- 操 作 時 間 : 180~220 秒

### 【操作方法又は使用方法等】

1. 暫間修復物の除去、窩洞清掃  
通法に従い、暫間修復物を除去した後、窩洞を清掃し、水洗後、清潔なエアで軽く乾燥させ、象牙質が多少湿る程度の水分を残します。
2. 修復物の試適、乾燥  
シェード、試適、咬合チェックをします。必要に応じ、ファインダイヤモンドポイント等で調整し、裏装面を研磨します。
3. 修復物(金属製、オールセラミックス製、コンポジットレジン製)の前処理  
修復物又はコンポジット支台歯は通法に従い、事前処理します。
4. プライマーの塗布  
修復物の種類に合わせてプライマーを塗布します。修復物が金属あるいはジルコニアの場合は、修復面にメタル/ジルコニアプライマーを塗布します。コンポジットレジン、セラミックス等の修復に使う場合はコンポジットレジンの修復箇所にもモノボンドSを塗布します。歯面と接着する場合は、プライマーAとBを1:1の混合比(例: A液1滴+B液1滴)で混和し、混和後10分以内に塗布します。
5. プライマーA/Bの混和液をエナメル質、象牙質に塗布  
プライマーA/B混和液を事前処理した歯の接合面に塗布します。エナメル質から塗布し、少し圧をかけながら15秒間擦るように塗付します。エナメル質は30秒、象牙質は15秒ほど放置し、エアで乾燥させます。
6. オートミックスを修復物に直接塗布  
オートミックスをシリンジから出し、直接修復物に塗布します。
7. 修復物を当該部位に合着、余剰セメントを除去
  - a) 化学重合  
修復物を口腔内の修復箇所固定します。余剰物をマイクロブラシ、ブラシ、ペレット、デンタルフロス、スクレーパー等を用いて素早く取り除きます。
  - b) 化学重合+光重合  
修復物を口腔内の修復箇所固定します。1-2秒光照射し、余剰物を硬化させ、除去します。除去後、すべての辺縁部を20秒光照射し、硬化させます。大気中の酸素に触れる硬化物の表面は重合が抑制されるため、余剰物を除去した後、修復物の辺縁部をグリセリンジェル等で覆い、硬化後ジェルを洗い落とします。酸素に触れないようにしてください。
8. 修復物の仕上げ  
隣接面をストリップスで仕上げ、研磨します。咬み合せ、咬合時のチェックをし、必要に応じ調整します。修復物辺縁部をシリコンポリッシャーまたはディスクで磨きます。

### 【使用方法に関連する使用上の注意】

- ・仮着セメントにはユージノール系物質を含まない仮着セメントを使用してください。ユージノールは本品の重合を阻害するおそれがあります。
- ・本品は室温で使用してください。温度が低いと、容器から押し出しにくい場合があります。
- ・重合前の本品が肌、粘膜、目などに直接触れないよう注意すること。



## 【使用上の注意】

### 1. 使用注意

- ・本品は、[使用目的、効能又は効果]の項に記載の用途以外には使用しないでください。
- ・本品は、歯科医療有資格者以外は使用しないでください。

### 2. 重要な基本的注意

- ・本品の使用により発疹、湿疹、発赤、潰瘍、腫脹、かゆみ、しびれ等の過敏症状が現れた患者には、使用を中止し医師の診察を受けさせてください。
- ・歯髄に刺激を与えないよう、歯髄に近い箇所での使用の際には、水酸化カルシウム製剤等の歯髄/象牙質を刺激から守る効果のある薬剤を使用してください。
- ・ユージノール/クローブオイルを含有する物質は重合を阻害する恐れがあるので、本品との併用は避けてください。

## 【貯蔵・保管方法及び使用期間等】

### 〔貯蔵・保管方法〕

- ・歯科従事者以外が触れないように適切に保管・管理してください。
- ・冷所(2℃～8℃)で凍結を避けて保存してください。
- ・光に当たると不十分な重合作用をする怖れがあるので、使用後かならず遮光してください。使用したオートミックスチップに本品が残りますが、これがフタの役割を果たし、シリンジ内のマルチリンクの乾燥を防ぎます。  
次回使用する時にはチップをお取替えください。
- ・外装に記載の使用期限までに使用してください。開封後は使用期限にかかわらず、なるべく早めに使用してください。

## 【包装】

### ●システムパック

- ・トランスペアレント、イエロー、オペーク いずれか 1本
- ・プライマーA&B 各1本
- ・メタル/ジルコニアプライマー 1本
- ・モノボンドS 1本
- ・ミキシングチップ 15本
- ・ルートキャナルチップ 5本
- ・アプリケーションター 50本
- ・ミキシングパット 1個
- ・練和紙 1冊

### ●リフィル

- ・トランスペアレント、イエロー、オペーク いずれか 1本
- ・ミキシングチップ 15本

## 【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称及び住所等】

### 【製造販売元】

Ivoclar Vivadent 株式会社  
〒113-0033 東京都文京区本郷1-28-24  
電話 03-6903-3537 Fax 03-5844-3657

### 【製造元】

イボクラール ビバデント AG (リヒテンシュタイン侯国)  
(Ivoclar Vivadent AG)

